

平成24年度事務事業評価シート (23年度実施事業分)

事業番号	05 05 01	中期総合計画主要施策番号	1-04,4-02	担当課	部・課	環境部自然保護課	
事業名	公園管理事業			内線	2779		
				E-mail	shizenhogo@pref.nagano.lg.jp		
実施期間	S59 ~	根拠法令等	自然公園法、県立自然公園条例ほか				
実施方法	県が直接実施・委託(松本市・山ノ内町)					国庫・県単	県単独事業

事業の概要等	目的(必要性)	利用者が良好な自然に親しむことができるよう自然公園を適切に管理し、その利用を通じ利用者の自然保護意識の向上を図る。
	対象	自然公園(利用者)
	目指すべき姿	自然公園の優れた風致景観を維持し後世に伝えらるとともに、多くの県民が自然保護意識を高めながら、自然とふれあうことによる安らぎや感動を得る。
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自然保護センターの管理運営(乗鞍、美ヶ原、志賀高原、霧ヶ峰の4箇所) ・自然公園の巡視等を行う自然保護レンジャーの委嘱、研修 ・ハヶ岳中信高原国定公園霧ヶ峰地区の自然再生の推進 ・自然公園の管理

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 ・報酬(自然公園管理員) 8,033千円 ・賃金(自然再生推進員) 1,440千円 ・需用費(自然保護センター光熱水費ほか) 2,276千円 ・委託料(自然保護センター管理委託ほか) 9,791千円
	最終予算額 (A)		千円	25,051	27,873	19,412	
	決 算 額 (B)		千円	24,848	26,481		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	13,195	13,987	15,378	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	1.40	1.40	1.40	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	36,492	38,042	30,973	
事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 ・国定公園内に自然公園管理員を引き続き3名設置 ・霧ヶ峰の自然再生推進計画策定のための植生調査等を実施 (効率指標 算出式) 概算事業費 / 自然保護センター来館者数
	自然保護レンジャー委嘱数(活)		人	373	378	400	
	自然保護レンジャー活動日数(活)		日	3,550	3,338	3,600	
	自然保護センター来館者数(成)		人	85,453	81,319	86,000	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 自然保護センター来館者数		千円/人	0.43	0.48	0.38	

事業の成果	事業の目標(H23)		事業成果・評価		評価区分
	・自然保護センターの利用により、自然公園の適切な保護と利用の普及啓発を図る。 ・自然公園管理員を設置し、公園内の環境整備等を行う。 ・自然保護レンジャーの巡回指導により適正な公園利用を推進する。		・観光客数の減少により自然保護センター来館者数は前年並みに達しなかったが、センター利用者に対し自然公園の適切な保護と利用の普及啓発を行った。 ・自然公園管理員を引き続き設置し、環境整備やシカ食害調査等行い、適切な公園管理を図った。		b 期待どおり

事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明			
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 ・自然公園への関心は幅広い年代に広がり、本格的な登山よりも気軽に自然を堪能する初心者が増加が見込まれる中で、安全で快適な利用環境の整備及び適切な保護と利用の啓発を行ううえで県が関与していく必要がある。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)	・自然保護センターについて、公園利用者や各種ボランティア等の拠点として引き続き活用していくとともに、効率的な管理運営等について地域とともに検討する必要がある。 ・自然保護レンジャーの活動日数の増加とともに、資質向上と活用を図る。
	特記事項	